

## 西播磨圏域自立支援協議会 活動記録（報告）

|      |  |
|------|--|
| 開催日時 | 令和5年10月20日（金）10:00～11:40   |
| 開催場所 | 相生市文化会館 扶桑電通なぎさホール 小ホール  |
| 出席者  | 別紙名簿のとおり<br>（障害児計画相談に関する連絡会6名、療育に関する情報交換会9名、市町部会2名）  |
| 内容   | 令和5年度 相生・宍粟地区合同部会<br>（障害児計画相談に関する連絡会・療育に関する情報交換会・市町部会）   |
| 議事   | <p>全体司会：相生市</p> <p>【開会】<br/>堤より挨拶</p> <p>【事業所紹介】<br/>堤より資料1・2に沿って報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所つなぐ(宍粟市)がR5.3末で閉所、相談支援事業所MAIN(太子町)がR5.3より開所</li> <li>・新たに障害児通所4事業所が開所 (kids サポート(相生)、ForYou(たつの)、こどもオーケストラ(太子)、夢未来(太子))</li> <li>・「はりま自立の家(宍粟市)」がR5.9末で児発・放デイを廃止 宍粟市が事業継承し運営している。</li> </ul> <p>【障害児に関する計画相談について】<br/>濱本 Co より資料3・4に沿って西播磨圏域障害児計画相談の状況を説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実績報告は、請求のあった件数のみである</li> <li>・相談支援専門員人数と常勤換算の比較<br/>⇒兼務、非常勤配置が多数あり（人数よりも常勤換算が少ない）</li> <li>・相談件数は増えているが、相談員の人数は増えていない。</li> <li>・支援現場の人材確保が難しい<br/>⇒相談員の兼務の原因</li> <li>・西播磨はセルフプランはないが、待機している児は多い</li> </ul> <p>【情報交換（30分×2部）】<br/>＜第1部 支援の難しい児や家族への対応について＞</p> <p>○1グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育機関との情報共有できる機会が少なく、保護者からの情報が早く伝わる</li> <li>・先生によって対応への温度差を感じる</li> </ul> <p>○2グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町の支援会議状況の話が出た中で、障害児や保護者の気持ちについて話し合うことができているか、保護者と障害児の気持ちにも乖離があるのではないかと難しさを実感した</li> </ul> <p>○3グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太子町のトライアングルプロジェクトが進んでいる。</li> </ul> |

- ・就学前から担当者会議にて支援の話し合う場がある(太子町)

#### ○4グループ

- ・支援の難しい児は、その場限りの対応となってしまうことがあり、将来的な支援の難しさを感じている
- ・医療機関との連携(受診すること)
- ・教育機関との連携も1事業所だけでなく、組織的に動くことが望ましい

#### <第2部 療育の支援体制を整える上で必要なこと>

#### ○1グループ

- ・内部研修や講師を招いての研修を開催
- 。不登校だが事業所に通えている児童への支援が、スキルがあればもっと良い支援ができるのではと思うことがある

#### ○2グループ

- ・事業所内で月1回研修会の開催やその日毎の困り毎を職員での共有、解決に向け話し合っている
- ・相談支援専門員や児童発達管理責任者など経験年数が必要な職種は資格を取るまでの育成が難しい

#### ○3グループ

- ・保育士の多い事業所に作業療法士が配置され育成に苦慮しているが、他事業所の見学など実践体験することも良いのではないか

#### ○4グループ

- ・児発から放デイへの繋がりについて、事業所が少なくうまく利用できていないケースがある
- ・障害手帳や受給者証の所得について抵抗のある保護者が多い

#### 【その他】

- ・事務局からフローアップ研修について案内

#### 【閉会】

堤より挨拶